



大阪日々新聞紙 第十号

武加八主寺宿之日野駅の間での原を稼ぐ  
人力車曳と原の央の茶店の主と馴合ひ往來の人を  
車に乗せあへ引込く追刺追落しを行半業とし  
或日旅人の大金を取り二合てまけり其場にて茶  
店の亭主の悪心倍増し人力車夫を切害し  
死骸の仕舞を又外あり人力車夫の金を奪取ると  
云はる兩人を埋め此人力車夫も生を置る  
一大事と心の渡茶林大付る釜の地獄の  
修羅熱湯又赤教し此上の事  
ちつて六ちやうしと金残らば取掠を  
逃る足元薄氷を踏破る  
天網が秋夏夏目ハ逃るへさ  
うらあ縛り付くると云ふ

人力のあつて千里も  
まろれとま場の沖ん  
まろかあし

文島山人



新報

文島山人